
未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業
（トビタテ！留学JAPAN【拠点形成支援事業】）
2026年度（第11期）募集について
（応募者対象）

令和8年1月

未来を拓くとやまグローバル人材育成協議会
（事務局：富山県経営管理部学術振興課）



1 「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

2 2026年度の応募と選考について

3 留学計画の立て方、応募に向けての準備

4 参考情報

本資料は、官民協働海外留学創出プロジェクト トビタテ！留学JAPAN事務局「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム【高校生等対象】2026年度（第11期）募集について（応募者対象）」を参考としています。

※トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム【高校生等対象】は、（独）日本学生支援機構が実施する全国の高校生等を対象とするプログラムです。

トビタテ！留学JAPANとは

政府だけでなく、官民協働のもと社会総がかりで取り組む「留学促進キャンペーン」

意欲と能力のある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一步を踏み出す機運を醸成することを目的として、2013年10月より開始した取り組み。

日本代表プログラム

留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」の
機運醸成フラッグシッププロジェクト



大学生・高校生 **9,471人**を採用

富山県からの高校生の採用者は年に2～5名程度

社会の変化

1.変化のスピードがUP

技術の進歩 —Dog Year（7年→1年）から
Mouse Year（18年→1年）へ

2.シンギュラリティ —2045年、機械が人間を超える？

研究では、「47%の仕事が自動化される可能性がある」
（英オックスフォード大学 マイケル・A・オズボーン准教授）、
「現在の小学生の65%が、今ない職業に就く」（米デューク大学 キャシー・デビッドソン氏）という予測も

3.VUCA WORLD

- ・ Volatility（変動性）
- ・ Uncertainty（不確実性）
- ・ Complexity（複雑性）
- ・ Ambiguity（曖昧性）の高い世の中になっていく

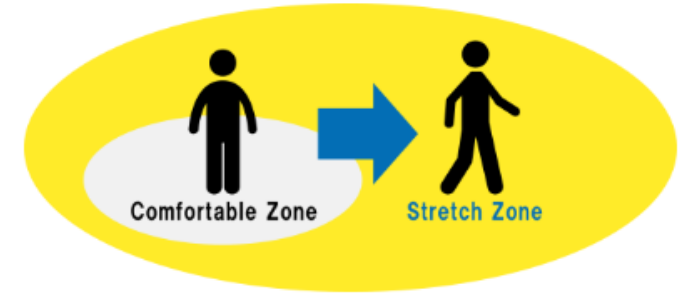


将来を見通すことが困難で、“正解のない時代”に突入

留学が人を大きく成長させるワケ

これまで生きてきた枠の外に一人で踏み出し、海外というアウェーな環境で苦労や葛藤を乗り越える経験をする。

この経験が人を大きく成長させる。



留学で得られる、6つの成長経験

- | | |
|------------------------|------------|
| ①外から日本（外側）を見る機会 | ▶ 視野の広がり |
| ②知らないことを知り、知りたいことを知る機会 | ▶ 世界への関心 |
| ③違う価値観に触れ、意味を知る機会 | ▶ 多様性受容 |
| ④己のことや日本を知る、知りたいと思う機会 | ▶ アイデンティティ |
| ⑤飛び込むことに自信を持つ機会 | ▶ 自己肯定感 |
| ⑥逃げないで苦労する機会 | ▶ ストレス耐性 |

➡ 視野を広げ、力をつけることで、人生の選択肢が大きく広がる！

富山県の現状

- 高校生の留学希望者が少ない
- 地方の高校生には、身近に海外経験者がいない
- 子どもたちの挑戦を周囲の大人が応援しきれていない

第3期富山県教育大綱（案）

◆教育方針1 一人ひとりの可能性を引き出す質の高い教育の実現

◇主な施策の方向性

(1)子どもの才能や個性を伸ばす教育の推進

施策項目② グローバル社会における人材育成

- 生徒が、間違いを恐れず主体的に英語でコミュニケーションを図る力や、グローバルな視点を持って活躍できる資質・能力を育成します。
- 高校生等が異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材の育成を図るため、県内高校生等に留学支援金を給付します。
- 地域の課題に対しグローバルな視点で主体的に取り組む人材育成を図るため、高校生の海外留学を産学官一体で支援します。

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

2026年度の応募と選考について

留学計画の立て方、応募に向けての準備

参考情報

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

1 事業(制度)の概要

2 事業(制度)の特徴

3 募集コース

4 要件



事業イメージ

高校生等



留 学



探 究



グ ロ ー バ ル 人 材 の 育 成

実社会とのつながりを意識した探究的な学び

地 域 課 題 の 解 決

事業目的

地域社会と連携し高校生の「探究型海外留学」の支援を通して、

- ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域の課題を自分事として捉え、地域の課題に基づく探究活動を通して富山県の発展や活性化に貢献する人材を育成する。
- 高校生の主体的な挑戦を地域で応援する。



地域のグローバル・リーダーを育成

育成を目指す人材像

▶ 視野の広がり ▶ 世界への関心 ▶ アイデンティティ
▶ 多様性受容
▶ ストレス耐性 ▶ 自己肯定感



- 富山県の解決すべき課題を見出し、その課題に主体的に取り組む意欲のある人材
- 将来、富山県の地域活性化、課題解決に貢献する意欲のある人材
- 世界と富山県をつなぐ「関係人口1000万人」に貢献する意欲のある人材

未来を拓くとやまグローバル人材育成協議会

設置目的

- 生徒の海外留学の機運醸成を図ることにより、グローバルな視点とローカルな視点を持って、社会課題解決に貢献する人材の育成を推進する。

組織

- 会長 富山県知事
- 副会長 富山県教育長
- 会員 下表のとおり

産	一般社団法人富山県経営者協会	学	富山県高等学校長協会
	富山県商工会議所連合会		富山県私立中学高等学校協会
	富山県商工会連合会		大学コンソーシアム富山
	富山県中小企業団体中央会	官	富山県経営管理部学術振興課
	富山経済同友会		富山県教育委員会教育みらい室県立高校課
		その他	公益財団法人とやま国際センター

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

本事業に支援いただいた皆様



株式会社URiP / 株式会社オーエーリンク / 大高建設株式会社 / 寿電設株式会社 / 株式会社拓友 / 祐エンジニアリング株式会社 /
大興運輸倉庫株式会社 / 大松青果株式会社 / 日本特殊軽電株式会社 /
株式会社ビルド・サポート / MAKITA GROUP / 有限会社吉本自動車工業

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

1 事業(制度)の概要

2 事業(制度)の特徴

3 募集コース

4 要件

本事業の募集要項は、下記URLにて公開中

[富山県／未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業（トビタテ！留学JAPAN「拠点形成支援事業」）](https://www.pref.toyama.jp/1119/global/20251017.html)

<https://www.pref.toyama.jp/1119/global/20251017.html>



未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業の特徴

1

民間寄附による返済不要の奨学金・留学準備金

2

成績・語学力不問

3

留学計画を自分で自由に設計できる
座学だけでない、多様な探究活動を支援(探究活動のみの留学も対象)

4

充実した事前研修・事後研修

5

アンバサダー活動とエヴァンジェリスト活動

特徴① 奨学金等による経済的支援

募集要項P.10～14

1

民間寄附による返済不要の奨学金・留学準備金

家計基準内

家計基準外

奨学金月額
[支給対象月1回分]

120,000円
or
160,000円

一律 60,000円

留学準備金
[定額]

留学先国・地域により 210,000円 or 350,000円
(アジア地域) (その他の地域)

- ★奨学金に含まれるもの : 留学計画の実行にかかる現地活動費及び授業料相当額
- ★留学準備金に含まれるもの : 事前・事後研修参加費、往復渡航費、査証取得や予防接種等、留学準備にかかる費用の一部

特徴① 奨学金等による経済的支援

募集要項P.10～14

奨学金の支給総額の算出

支給対象月数

$$\text{奨学金月額} \times \text{支給対象月数} = \text{奨学金支給総額}$$

奨学金月額

- 家計基準と留学先国・地域によって異なる金額を適用
- 複数の留学先国・地域がある場合、
 - 留学期間(日数)が最も長い留学先国・地域の金額を適用
 - 留学期間(日数)が同じときは、金額が高い方の地域区分を適用

※支給対象の月の数に応じて奨学金月額を支給します。カレンダー上の月の数ではありません。

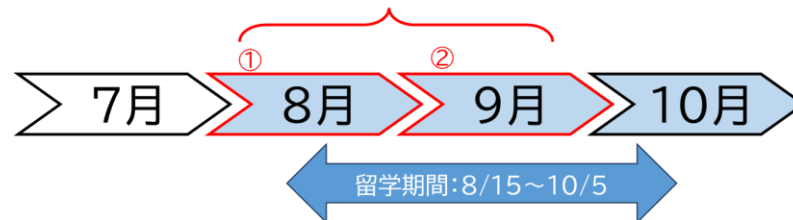
支給総額

$$\text{留学期間の日数} \div 31 = \text{支給対象月数} \quad \text{※小数点以下切り上げ}$$

<例>

奨学金月額	留学期間	留学期間(日数)	支給対象月数	奨学金支給総額
12万円	8/15-10/5	52日	2回分	24万円

支給対象月数: 2回分



必ず募集要項で詳細を確認してください。

2

成績・語学力不問

募集要件として、学業成績や語学力
は問いません

3

留学計画を自分で自由に設計できる
座学だけでない、多様な探究活動を支援(探究活動のみの留学も対象)

行きたい場所で、やりたい探究を！

特徴③ 探究活動

募集要項P.3

探究活動と**その他の学修活動**の割合は、自由に立案することができます。
探究活動のみの留学計画も支援の対象です。

※**語学学習のみの留学は支援対象外**



例1

語学学校や現地校への通学の前後に
探究活動を行う留学計画

その他の学修活動

探究活動

探究活動

その他の学修活動

例2

語学学校や現地校への通学と並行して
探究活動を行う留学計画

その他の学修活動

(授業がないタイミングで)
探究活動

例3

語学学校や現地校への通学はせず、
探究活動のみを行う留学計画

探究活動



- 探究活動の時間数の指定はありません。
- 例①と例②のように座学と探究活動を組み合わせる場合も、例③のように探究活動のみを行う場合も、**活動を行う受入先機関が必要**です。

4

充実した事前研修・事後研修

留学前の事前研修

- 派遣留学生としての意識の醸成
- 留学計画のブラッシュアップ

留学後の事後研修

- 留学経験の言語化とシェア
- 将来の目標設定

- 富山県内の大学関係者、企業関係者とつながることができる
- 全国のトビタテ生およびトビタテ生コミュニティとつながることができる

留学前の事前研修

未来を拓くとやま高校生グローバル育成事業

壮行会・事前オリエンテーション <富山> 令和8年6月13日（土）
（参加必須）

全国（主催：日本学生支援機構）	推奨参加日
-----------------	-------

壮行会（参加任意）	<東京> 令和8年6月14日（日）午前
	<大阪> 令和8年6月20日（土）午前

事前研修（参加必須）	<東京> 令和8年6月14日（日）午後
	<大阪> 令和8年6月20日（土）午後
	令和8年6月21日（日）午後

留学後の事後研修

未来を拓くとやま高校生グローバル育成事業

事後オリエンテーション
(参加必須)

<富山> 令和8年11月(予定)

全国(主催:日本学生支援機構)

事後研修(参加必須)

<東京または大阪> 令和8年秋以降順次

5

アンバサダー活動とエヴァンジェリスト活動

派遣留学生に期待される3つの役割

Global Leader

留学を通じて最大限に成長し、将来の「グローバルリーダー」を目指す

Ambassador

留学中は「日本のアンバサダー(大使)」として日本や富山県の良さを発信する活動を行う

Evangelist

留学中や帰国後に「留学のエヴァンジェリスト(伝道師)」として、留学の意義や成果を積極的に発信し富山県の留学機運醸成に寄与する活動を行う

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

1 事業(制度)の概要

2 事業(制度)の特徴

3 募集コース

4 要件

3 募集コース

募集要項P.6

募集コース	支援予定人数	
とやま未来探究コース	約40名	富山県独自のコース
STEAM探究コース	若干名	全国版と 共通コース 4コースあわせて 10名程度
スポーツ・芸術探究コース	若干名	
マイ好奇心探究コース	若干名	
社会課題探究コース	若干名	

※同時に複数のコースへ応募することはできません

3 募集コース（とやま未来探究コース）

募集要項P.6～10

とやま未来探究コース

本県独自

富山県の特徴やその課題について学び、自由な発想と創造力をもって下記5つのテーマに即した探究課題を設定し、国内や海外でのフィールドワーク等を行う探究活動に取り組む留学計画。

- ①ものづくり産業・農林水産業振興
- ②観光・交流振興
- ③地域交通・まちづくり
- ④多様な人材活躍
- ⑤とやまと世界を繋ぐマイプロジェクト

【募集人数】 40名程度
【募集形態】 個人応募、
チーム応募（最大4名）

3 募集コース（全国版と共通コース①）

募集要項P.6～10

STEAM探究コース

全国版と共通

STEAM(科学・技術・工学・芸術・数学)領域における問いを設定した探究活動を含む留学計画や、問いに対してAIやIoT、理科の見方・考え方や数学的な見方・考え方を活用しながら行う探究活動が含まれ、将来の進路選択に繋がる留学計画。

スポーツ・芸術探究コース

全国版と共通

実技経験や実績の有無にかかわらず、スポーツ・芸術分野における問いを設定し、当該分野の更なる発展に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

※実技・実績の有無は問わない。

3 募集コース（全国版と共通コース②）

募集要項P.6～10

マイ好奇心探究コース

全国版と共通

「知りたい」、「明らかにしたい」という自らの興味・関心に基づいた問いを設定し、「未知を既知」にすることや「疑問を解明」することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

社会課題探究コース

全国版と共通

世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考えた問いを設定し、課題解決や活性化、SDGs、社会貢献に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

【募集人数】 4コースあわせて10名程度
【募集形態】 個人応募のみ

未知を既知にする・疑問を解明する

課題を解決する

STEP1

とやま未来探究コース

(幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～)
富山県の特徴やその課題について学び、自由な発想と創造力をもって
「①ものづくり産業・農林水産業振興」「②観光・交流振興」「③地域交通・まちづくり」
「④多様な人材活躍」「⑤とやまと世界を繋ぐマイプロジェクト」のいずれかに即した
探究課題を設定し、国内外でのフィールドワーク等を行う探究活動に取り組む留学計画

STEP2

STEAM探究コース

STEAM領域に関する内容の留学計画や、AIやIoT、理科の見方・考え方や
数学的な見方・考え方を活用する探究活動を含む留学計画
※地域に関連する場合を除く

STEP3

スポーツ・芸術探究コース

スポーツ・芸術分野に関する探究活動を含む留学計画
※STEAM領域に関する内容や、AIやIoT・理科の見方・考え方や数学的な見方・考え方を活用する場合を除く。
※地域に関する場合を除く

STEP4

マイ好奇心探究コース

「知りたい」「明らかにしたい」という自らの興味・関心
に基づき、未知を既知にする、又は疑問を解明する探
究活動を含む留学計画
※地域に関連する場合を除く

or

社会課題探究コース

社会課題を自分ごととして考え、課題解決や活性化、
社会貢献に寄与する探究活動を含む留学計画
※地域に関連する場合を除く

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

1 事業(制度)の概要

2 事業(制度)の特徴

3 募集コース

4 要件

1

日本国籍を有する者又は応募時までに日本への永住が許可されている者

2

機構及び本協議会が主催する事前・事後研修、事前・事後オリエンテーション、壮行会・報告会に参加する意思を表明した者、また、本協議会及び機構が主催する派遣留学生ネットワーク(留学機運醸成のための活動、支援企業等に対する留学計画や活動報告・成果等の情報の提供を含む。)に参加する意思を表明した者

3

在籍高校等において、卒業を目的とした課程に在籍する者

4

在籍高校等が派遣を許可し、受入先機関が受入れを許可する者

5

機構が実施する国内の奨学金「第二種奨学金(予約採用)」に掲げる、家計基準の判定に必要な証明書を提出できる者

※本事業では、奨学金月額決定のため家計基準の判定を必須としています。

※家計基準を満たすか超えるかについては、在籍高校等にてご確認をお願いいたします。

※家計基準は、生計維持者(原則として父母2名。ただし、生計維持者が1名になる事例に該当する場合は父、母又は父母に代わって生計を維持している主たる人のいずれか1名。)の収入・所得金額に基づいて判定してください。

6

留学に必要な査証を確実に取得し得る者

7

留学終了後、在籍高校等に戻り学業を継続する者又は卒業を目指す者

8

2026年4月1日時点の年齢が30歳以下である者

9

留学中に行うインターンシップ等の報酬や他団体等から留学のための給付型奨学金を受ける場合は、その総額が、本事業による奨学金の総額(留学準備金は含まない)を超えない者

※本事業による奨学金の総額」には、留学準備金は含まれません。除いて算出してください。

※他の奨学金支給団体側が本制度の奨学金等との併給を認めない場合があるので、当該団体に確認してください。

※文部科学省が実施する「初等中等教育段階からの国際交流促進事業(国費高校生留学促進事業)」の留学支援金との併給不可。



10

過去に、本事業、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム～」（【高校生等対象】及び【拠点形成支援事業】）又は「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」（以下「旧制度」という。）の派遣留学生として採用されていない者

※過去に採用された後、本人の責によらず留学開始前に辞退した者は、要件を満たすものとみなす。

※旧制度の派遣留学生：第1期～第7期の派遣留学生、地域人材コース高校生等枠の第9期～第11期の派遣留学生

11

渡航中の万一の事故・病気に備えるため、留学開始前までに各自で海外旅行保険に加入している者



必ず募集要項で詳細を確認してください。

1

留学先国・地域における留学期間が
2026年7月10日(金)から2026年10月31日(土)までの間である計画

※留学開始日が2026年7月10日(金)より前の計画は支援対象外

※「留学開始日」とは、受入先機関で活動を開始する日です。日本出発日、現地到着日及び滞在開始日ではありません。



2

留学先国・地域における留学期間が14日以上62日以内の計画

※留学終了(受入先機関での活動終了)後、10日以内に帰国する必要があります。



3

受入先機関からの受入許可を留学開始前までに得ることができる計画

※受入先機関とは、諸外国等に所在する法人や団体等で、派遣留学生が実際に学修や探究活動を行う機関です。個人による受入れは認められません。受入先機関がなく、受入れの証明や活動を修了したことの証明ができない計画は支援の対象外です。

※受入先機関が複数ある場合、各受入先機関での活動開始前に受入許可を得る必要があります。

4

在籍高校等が、教育上有益な学修活動と認める計画

※語学学習のみを行う計画は、支援の対象外です。ただし、語学学習が留学全体の準備過程又は補助的位置づけとして計画の一部に含まれている場合は、支援の対象となります。

5

留学の目的に沿った探究活動が含まれている計画

6

アンバサダー活動、エヴァンジェリスト活動が含まれている計画

アンバサダー活動

留学先において日本や富山県の良さを発信する活動

エヴァンジェリスト
活動

留学中や帰国後に富山県において留学の意義や成果を積極的に発信し
留学機運醸成に寄与する活動

7

受入先機関の所在地が、外務省「海外安全ホームページ」の危険情報及び感染症危険情報の「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではない計画

※応募時点で受入先機関の所在地が「レベル2」以上であっても、選考に差し支えありません。ただし、留学開始時点又は留学中に「レベル2」以上となった場合は、原則、奨学金の支給対象外となります。



必ず募集要項で詳細を確認してください。



「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

2026年度の応募と選考について

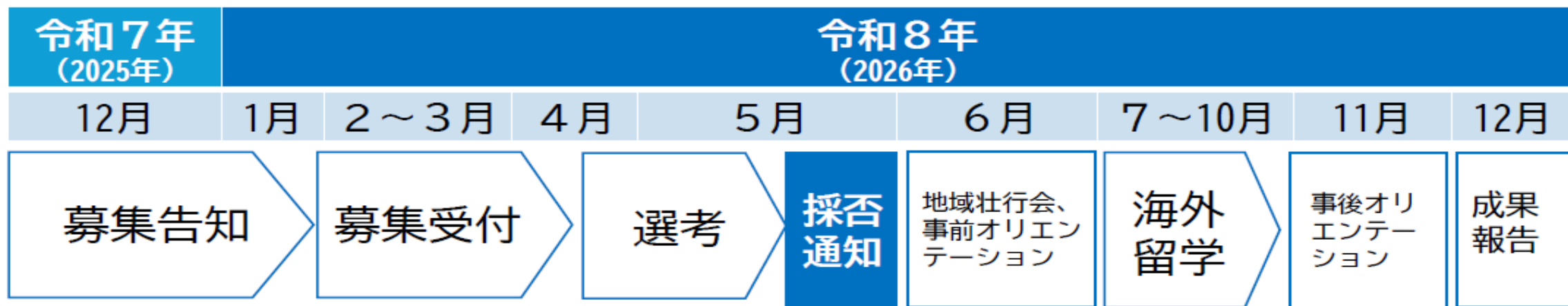
留学計画の立て方、応募に向けての準備

参考情報

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

募集要項P.23

今後のスケジュール(～R8)



	新高校2・3年生	新高校1年生
①応募受付期間	令和8年2月2日(月) ～3月31日(火) 17時	令和8年4月入学後 ～4月17日(金) 17時
②面接審査	令和8年5月10日(日)	
③採否通知	令和8年5月下旬予定	
④地域壮行会 事前オリエンテーション	令和8年6月13日(土)	
⑤海外留学	令和8年7月10日(金)～10月31日(土)	
⑥事後オリエンテーション	令和8年11月(予定)	
⑦成果報告会	令和8年12月(予定)	

※全国版との併願可能

※選考は書面審査と面接

※留学期間は
14日以上62日以内

第一日程 (新高校2・3年生)	第二日程 (新高校1年生)
令和8年2月2日～3月31日	入学後～4月17日（金）



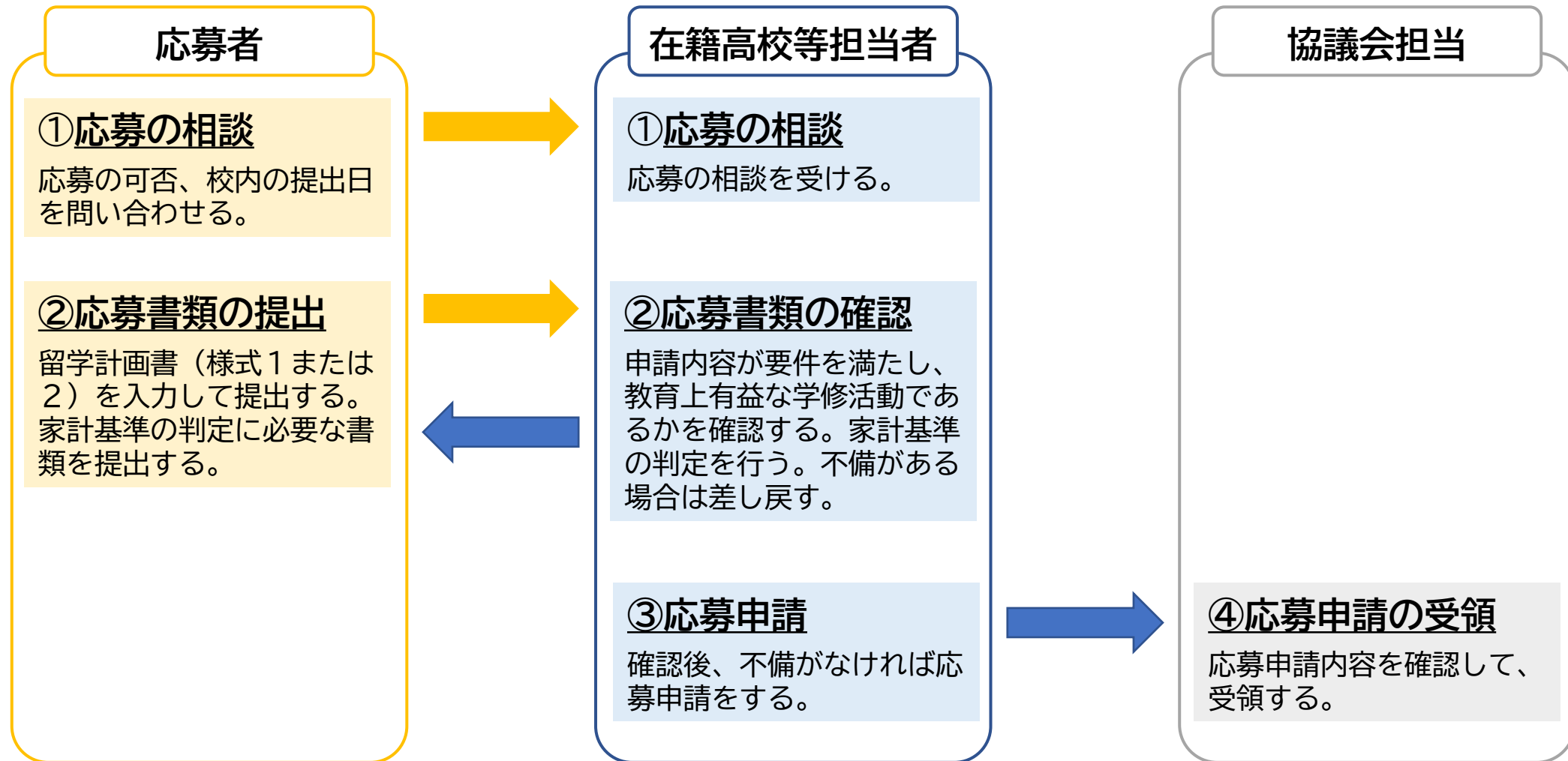
- 「第一日程」は新高校2・3年生対象、「第二日程」は新高校1年生対象
- 応募者全員に対して「書面審査」と「面接審査」による「総合審査」を行います
- 面接審査は、個人面接（チーム応募の場合はチームでの面接）とします。

選考の流れ（新高校1年生について）

第二日程 (新高校1年生)
入学後～4月17日（金）

- 応募は令和8年度入学以降に在籍高校等を通して行います
- 応募期間が短いため、合格者説明会などを通して、在籍予定高校等に応募希望の旨を伝えてください

応募申請の流れ



応募申請の流れ②（家計基準の判定方法）

募集要項P.15

在籍高校等へ提出するもの【応募者】

提出対象者

【原則】 応募者の生計維持者2名(父母)

※父母がいる場合は、原則として父母2名が生計維持者となります。



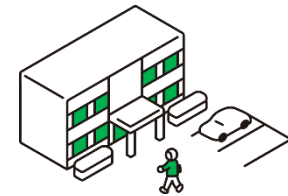
提出書類

市区町村民税を納税している自治体が発行する、

令和7年度(令和6年分)課税証明書

※自治体によって「所得証明書」等、名称が異なります。

※生計維持者の両名又はいずれかが海外に居住しているため提出できない場合は、
令和6年1月～12月の給与明細のコピー等、代替の書類を提出してください。

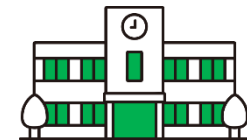


提出先

応募者の在籍高校等

※在籍高校等が、応募申請時に応募者の家計基準を入力する必要があります。

事前に判定ができるよう、必ず応募申請期限より前に在籍高校等に提出してください。



計画(書面審査)

- 留学の目的や学びたいことが明確であるか、応募理由が明確であるか
- 留学の目的を達成させるために適切な「留学先」「期間」「探究活動内容」であるか
- 今回の留学で得た成果を自分の将来にどのように活かし、富山県や社会にどのような形で還元しようと考えているか

人物(書面審査・面接審査)

- 求める人材像で示すような人材であるか

参考

＜予定＞

- ・ 留学計画書に基づくプレゼンテーション(10分)
- ・ 質疑応答(10分)

情熱

好奇心

独自性

自分自身の言葉で伝えることができるか

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

2026年度の応募と選考について

留学計画の立て方、応募に向けての準備

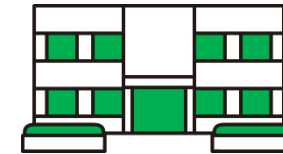
参考情報

1 留学計画の注意点

2 留学計画の作り方

受入先機関とは

諸外国等に所在する法人や団体等で、
派遣留学生が実際に学修や探究活動を行う機関で、
派遣留学生の受入れの証明や、活動修了の証明が可能な機関



例) 語学学校、高等学校、大学、インターンシップの受入れを行う企業や公的機関等

※必ずしも探究課題の内容と関連する必要はありません

以下は受入先機関として認められません。



- 日本に所在する法人・団体等
※日本に所在する法人・団体等の海外事務所は認められます。
- 滞在先(ホームステイ先、寮、ホテル等)
- 留学あっせん業者(留学エージェント、旅行代理店、現地ツアー会社等)
※留学あっせん業者が受入先機関として認められるのは、留学計画の活動内容が留学あっせん業者の業務・活動に関するものである場合のみです。
- 個人(親戚・知り合い、教師等)
※ただし、個人が経営する事業に関する活動を行う場合は、その法人・団体等が受入先機関として認められます。

1 留学計画の注意点

募集要項P.17～P18

留学期間(＝活動期間)とは

受入先機関での実際の活動の開始日から終了日までの期間



以下の期間は、受入先機関での活動を行わない場合は留学期間に含まれません。

- ・ 渡航にかかる期間
- ・ 帰国にかかる期間
- ・ 他の国・地域への移動期間



受入先機関が証明する受入れの期間と一致する必要があります。

受入先機関が発行する修了証明書等の書面で派遣留学生の受入れを証明できない日程は留学期間に含まれません。

留学開始日



受入先機関で活動を開始する日。活動開始日。



日本出発日、現地到着日、滞在開始日

留学終了日



受入先機関で活動を終了する日。活動終了日。



現地出発日、日本到着日、滞在終了日

留学期間(＝活動期間)とは

活動を行わない日(日本出国日、現地入国日、現地出国日、日本入国日、2カ国目への移動にかかる日数など)を除いて14日以上62日以内であることを確認してください。



- 8月31日(月)から11日(金)までの12日間は語学学校に通い、12日(土)と13日(日)の2日間はボランティア団体の活動に参加する。



- 8月1日に入国しホームステイを開始する。翌日8月2日から14日まで13日間活動を行う。
→留学期間は8月2日～14日の13日間のため、支援対象外。



- 8月30日(日)に入国し、翌日の8月31日(月)から11日(金)までの12日間は語学学校に通う。12日(土)は公園でのインタビューや博物館の見学を行うが、受入先機関はない。13日(日)に出国する。
→留学期間は8月31日～11日の12日間のため、支援対象外。

採用後の留学計画の変更

採用後、留学計画(留学期間、受入先機関、国・地域等)に変更が生じた場合は、留学計画の**変更申請**の手続きを行う必要があります。
計画変更の内容によっては選考委員による**再審査**を行います。

注意事項

- 応募の段階から熟慮のうえ留学計画を作成し、申請してください。
- 採用決定後、**留学計画の変更による奨学金等の支給額の増額は行いません。**

1 留学計画の注意点

2 留学計画の作り方

2 留学計画の作り方

留学計画書(様式1)

(様式1)
官民協働海外留学支援制度「トビタテ」留学 JAPAN 新・日本代表プログラム(拠点形成支援事業)～
未来を拓くtoyama高校生グローバル人材育成事業 2026年度(第11期)留学計画書

2 留学計画

2-1 応募理由

未来を拓くtoyama高校生グローバル人材育成事業に応募した理由を記入してください。(500字以内)

--

2-2 留学計画の概要

(1)留学計画のタイトル(40字以内)

--

(2)留学計画のキーワード(各10字以上20字以内)

①	
②	
③	

(3)留学計画の概要を簡潔に説明してください。(250字以内)

--

(4)留学の実現のための具体的な取り組みを記入してください。(受入先機関との交渉状況や具体的に考えていること)(250文字以内)

--

(様式1)
官民協働海外留学支援制度「トビタテ」留学 JAPAN 新・日本代表プログラム(拠点形成支援事業)～
未来を拓くtoyama高校生グローバル人材育成事業 2026年度(第11期)留学計画書

2-3 留学先

留学計画の作成にあたっては、本事業の2026年度(第11期)募集要項(7.(2)留学計画の要件)を満たしていることを確認してください。留学計画の要件を満たさない計画は支援の対象外となりますので注意してください。

■留学期間

①留学開始日 (1か所目の受入先機関の活動開始日)	西暦	年	月	日
②留学終了日 (最後の受入先機関の活動終了日)	西暦	年	月	日
③留学期間(日数)	日数			

①留学開始日:1か所目の受入先機関での活動開始日を記入してください。渡航日ではありません。

②留学終了日:受入先機関が1つの場合は1か所目の、2つの場合は2か所目の、3つの場合は3か所目の活動終了日を記入してください。帰国日ではありません。

③留学日数:1か所目の受入先機関の活動開始日～最後の受入先機関の終了日の日数を記入してください。複数の受入先機関に連続して行く場合で、間に活動を行わない日(例:移動日)がある場合は、その日数を抜いてください。

■1か所目(必須)

1か所目	①国・地域	選択	②都市名					
	③受入先機関の種別	選択	その他の場合()					
	④受入先機関名	英語表記						
		日本語表記						
	⑤活動開始日	西暦	年	月	日	⑦活動日数	日間	
	⑥活動終了日	西暦	年	月	日			

③受入先機関の種別:近いと思われる種別を選択してください。リストにない場合は、「13.その他」を選択し、詳細を記入してください。

⑤活動開始日:受入先機関での活動開始日を記入してください。渡航日ではありません。

⑥活動終了日:受入先機関での活動終了日を記入してください。帰国日ではありません。

⑦活動日数:⑤から⑥の日数を記入してください。

記入例も参考にしながら作成

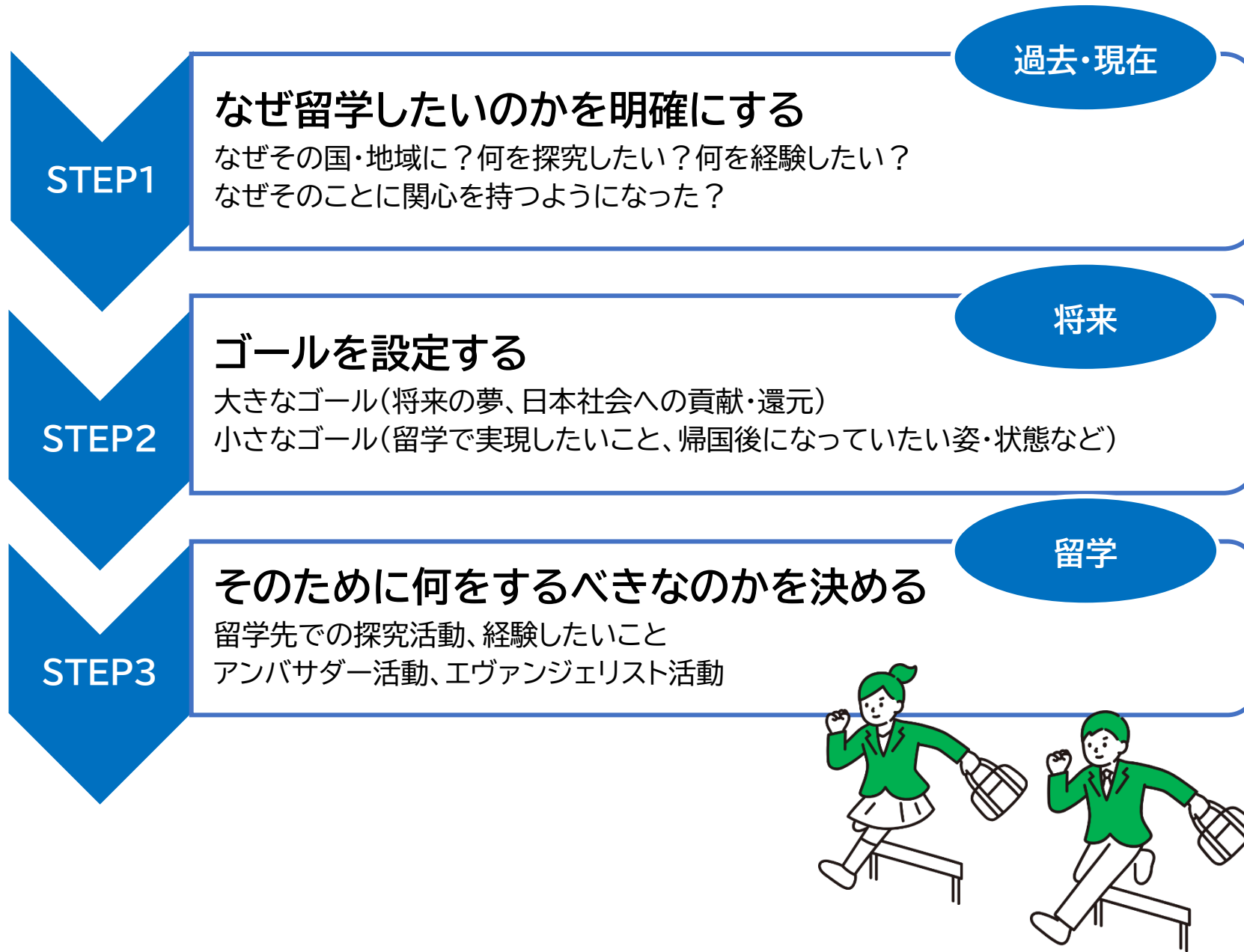
募集要項及び留学計画書は、下記URLよりダウンロードください

未来を拓くtoyama高校生グローバル人材育成事業(トビタテ！留学JAPAN「拠点形成支援事業」)

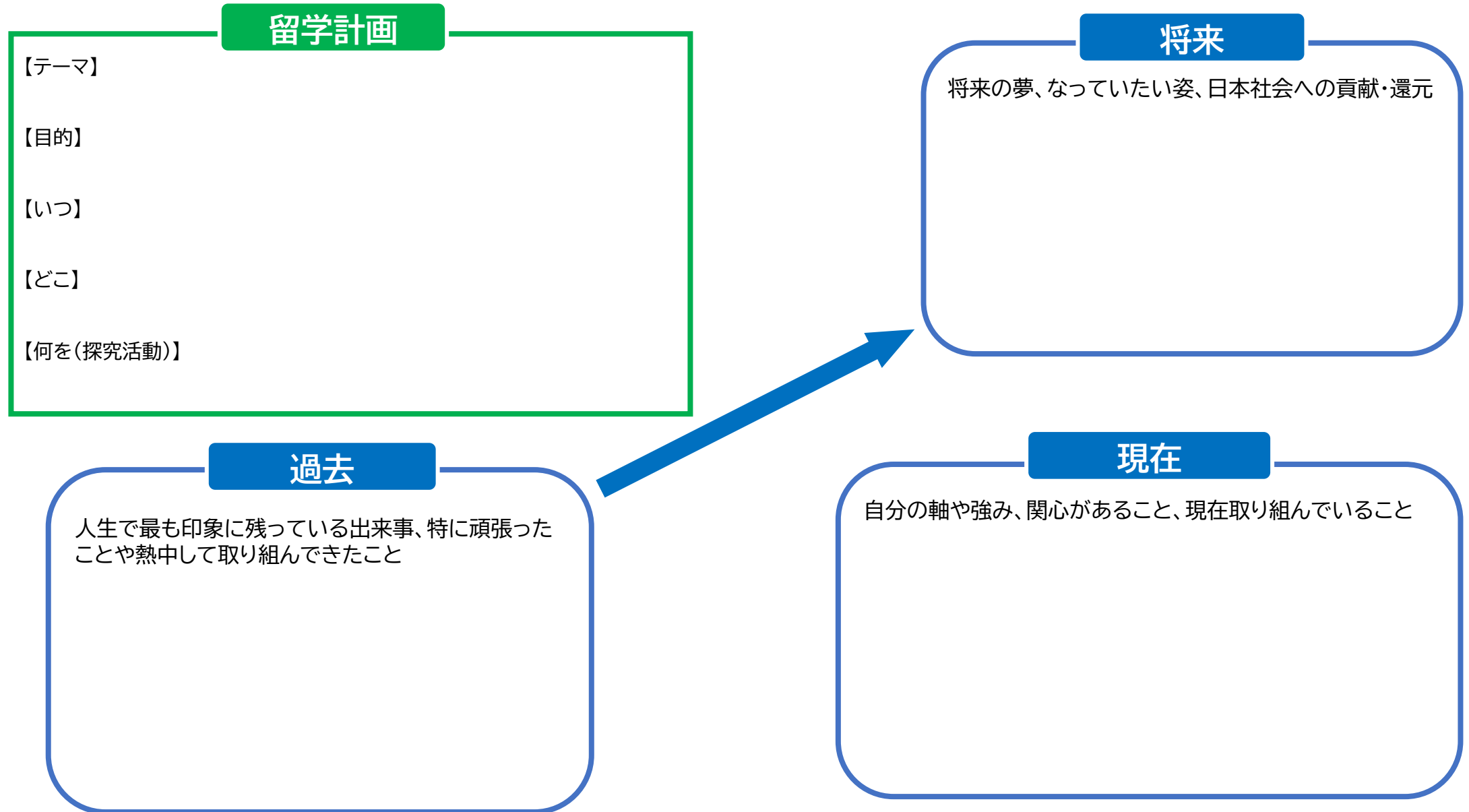
<https://www.pref.toyama.jp/1119/global/20251017.html>



2 留学計画の作り方



2 留学計画の作り方



2 留学計画の作り方

1

学校の留学プログラムを活用する

2

留学あっせん業者が提供する留学プログラムを活用する

※留学あっせん業者:留学手続き代行・留学先あっせん・滞在中のサポートなどを行う業者・団体
(例)留学エージェント、旅行代理店

3

自ら受入先機関を探し、留学プログラムを手配する



1 2 の場合の注意点

在籍高校等が教育上有益な学修と認めるプログラムであれば活用することが可能です。

本事業は生徒等が自ら立案・計画した留学計画を支援するものです。

既存のプログラムの内容をそのまま留学計画とするのではなく、生徒等が自ら立案・計画する活動を加え、独自性のある留学計画を作成してください。

「未来を拓くとやま高校生グローバル人材育成事業」概要

2026年度の応募と選考について

留学計画の立て方、応募に向けての準備

参考情報

留学大図鑑

トビタテに採用された先輩の留学体験談や、後輩へのアドバイスなどを掲載しています。
留学計画の作成にぜひ活用してください。

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/zukan/>



※出典：トビタテ！留学JAPAN公式サイト



高校生の留学ドキュメンタリー
～初海外、驚きの連続編～（5分版）



『中高生が語る、留学のリアル』 なんて留学しないの？
1分半版



『うちの子、トビタテの奨学金で留学しました』
2分半版



よくある質問

Q 在籍高校を通さずに個人の応募はできますか。

A できません。必ず、在籍高校等を通じて応募ください。

Q 内容の異なる留学計画を複数申請することはできますか。

A 複数の留学計画を申請することは認められません。

Q 複数のコースに併願することはできますか。

A 複数のコースへの併願は認められません。留学計画と各コースの趣旨等を勘案して、最も適切と考えるコースに応募ください。

Q 留学に行ってみたいと思っているが、英語が苦手で、留学に自信がありません。

A これまでも英語が得意ではなくても、トビタテ！で海外に留学した先輩はたくさんいます。自分の得意なことやちょっとしたアイデアで周囲を巻き込み、コミュニケーションをとって楽しんでいる人もいます。留学したい気持ちに素直になって考えてみてはいかがでしょうか。留学というチャレンジが、さらに新しい世界が広がるきっかけとなるでしょう。

よくある質問

Q 留学先国・地域が複数ある留学計画は支援対象となりますか。

A 支援対象です。ただし、日本へ帰国することなく別の留学先国・地域へ移動する場合に限ります。

Q 海外ボランティアやインターンシップを行う留学計画は支援対象となりますか。

A 支援対象です。拠点形成支援事業では、インターンシップ、ボランティア、現地の高校等に在籍しながらのフィールドワーク、実験、実習等、生徒等が自ら立案・作成した探究活動を含む留学を支援しています。

Q ホームステイ先を斡旋する旅行代理店や、留学プログラムを提供するエージェントは受入先機関として認められますか。

A 認められません。ただし、諸外国等に所在する当該機関において、当該機関の業務に関するインターンシップ等の探究活動を行う場合は、この限りではありません。

[\(参考\) 【拠点形成支援事業】よくあるご質問 \(FAQ\) トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム 第11期募集 | ニュース | トビタテ！留学JAPAN | 文部科学省](#)



2026年度（第11期）における【拠点形成支援事業】と【高校生等対象】の比較

項目	【拠点形成支援事業】未来を拓く とやま高校生グローバル人材育成事業	【高校生等対象】
募集コース	とやま未来探究コース ほか 【高校生等対象】共通4コース	STEAM探究/スポーツ・芸術探究/マイ好奇心 探究/社会課題探究
採用予定人数	50名	約700名
留学期間	14日以上62日以内	14日以上365日以内
留学可能期間	2026年7月10日から2026年10月31日までの間	---
留学開始日	---	2026年7月10日から2027年3月31日までの間
応募方法	在籍高校等から協議会へ 応募希望者の留学計画書を提出	在籍高校等から日本学生支援機構へ オンラインシステムにより応募
応募締切	新高2・3年生 令和8年3月31日 新高1年生 令和8年4月17日	新高2・3年生 令和8年1月22日 新高1年生 令和8年4月21日
参加必須研修	事前・事後研修（主催：日本学生支援機構） 地域壮行会、事前・事後オリエンテーショ ン（主催：本協議会）	事前・事後研修（主催：日本学生支援機構）



応募者及び保護者のお問い合わせ先

在籍高校等の担当者

※応募者及び保護者の方は、在籍高校等の担当者を通じてお問い合わせください。

※応募にあたり、在籍高校等ごとのルールがあることがあります。

事務局は、応募者及び保護者の方からのお問い合わせには、原則回答いたしません。

在籍高校等担当者のお問い合わせ先

県立高校	富山県教育委員会教育みらい室県立高校課	076-444-3450
------	---------------------	--------------

私立高校、富山高等専門学校	富山県経営管理部学術振興課	076-444-9645
---------------	---------------	--------------